

PACS システム Nazca の導入により、完全フィルムレス化を実現  
STELLAR を利用することで診療データのシステム化も可能に



Nazca 使用風景

### 導入経緯

#### 医療の効率化、患者様サービス向上を図るため導入を検討

当院は平成 18 年度の新館開設に伴いオーダーリングシステムを導入しました。その後、診療科の増設により来院患者数が増加し、その結果画像診断の機会が増えていきました。徐々に増えていく画像に限られた医療スタッフでいかに効率よく運搬、管理をしていくかが大きな課題となりました。

そこで、まずフィルムレス化を行うことによって業務の効率化、画像保管場所の有効利用、そして患者様へのサービスの向上を図ることを検討しました。更に、平成 20 年度の診療報酬改正ではデジタル映像処理加算の点数が下がり、電子画像管理加算の算定が可能になったこともシステム導入を積極的に検討した理由の 1 つとなりました。

以上のことから院内委員会での検討を重ねた結果、画像閲覧システムを導入することとなりました。

### 導入システム

- DICOM 画像管理システム **Nazca**
- 診療情報統合システム **STELLAR**

### 導入効果

#### 業務の効率化、患者様へのサービス向上が実現

導入以前は撮影、現像、運搬の流れを経てようやくフィルムが診察医のもとに届いていました。又、過去のデータと比較する際にも保管庫からフィルムを探しそれを運搬しなければならなかったため多くの時間、労力を要していました。PACS システムの導入により現像、運搬の作業が省かれ、撮影と同時に診察室での閲覧が可能となり、過去データとの比較時にもフィルム探索をする必要がなくなったため大幅に時間と労力を短縮することができました。

PACS システムはデジタル化された画像であるため、フィルムとは違い劣化の心配もなく、デジタル画像の利点を活用して医師が直接、画像の拡大および補正を行うことができるため、正確かつ効率的に画像を閲覧できるようになりました。

その他にもフィルム保管の際に生じる紛失の心配がなくなったことやフィルム保管スペースの有効利用が可能になったことも導入効果の一つに挙げられます。

これらすべてが患者様へのサービス向上につながり、期待していた以上の効果をもたらし、非常に満足しています。

#### 採用の決め手は、撮影画像の質、表示スピード、ビューア操作機能の安定性と低コスト

当院が使用しているオーダーリングシステム会社からアストロステージを紹介いただき、交渉を開始しました。

採用にあたっては、画像ビューアの画質、表示速度、実際に使用する医師全員が比較的容易に操作可能であるか等を重視しました。導入前にデモンストレーションを行いました。コンピューターに不慣れな医師から多機能を求める医師までその機能性に満足しました。

更に導入後に生じる病院独自の要望、意見に対しても積極かつ柔軟に対応いただくことを話し合い、最後に、費用対効果の点で初期費用及び保守費用共に納得のいく条件が提示されアストロステージを採用することとなりました。



院内使用モダリティ

- システムの導入に伴い時間短縮と労力の削減に成功
- フィルムレスにより劣化の心配がなく効率的に画像の閲覧が可能になった

### 導入後の効果

### 導入前の課題

- フィルムレス化による作業の効率化
- 患者様へのサービスの向上

### 松阪厚生病院：システム導入時期 / Aug 2009



当院は昭和 31 年 11 月、三重県のほぼ中央部に位置する松阪市に病床数 45 床の精神科病院として開設され、以来三重県中勢地域の精神科医療の中核をなす病院として地域医療に貢献してきました。

精神と身体のリゾソン医療を目指し歯科、内科、眼科、健診センターを順次開設。平成 18 年には病院開設 50 年の歴史を刻むと共に更なる地域の付託に応えるため新本館をオープンし、皮膚科、整形外科、外科の設置に加え、健診センターの拡充、透析センター、緩和ケア病棟を開設しました。

現在では精神科病床 590 床、一般病床 47 床、療養病床 123 床、緩和ケア病床 20 床の併せて 780 床の病院となり、精神科医療のみならず総ての方々が病気の治療、療養そして予防に安心してお越しいただける病院を目指しています。また、病院規模の拡充に伴いソフト面の充実・効率化を追究し、院内 LAN の構築、カルテの電子化 (PACS、オーダーリング等) を推進、平成 19 年には ISO 認証取得、平成 20 年には日本医療機能評価機構 (Ver5) の認定取得と、職員一同日々研鑽につとめています。

所在地：三重県松阪市久保町 1927-2

病床数：780 床

診療科：内科・外科・胃腸科・精神科・心療内科・児童思春期外来・皮膚科・眼科  
整形外科・リハビリテーション科・緩和ケア・歯科・血液透析  
人間ドック・健診センター

### 今後の方針

急速に進む少子高齢化に伴い、医療を取り巻く環境は変化しています。様々なご要望に対応し、地域医療に貢献できることを当院は常に目指しています。

現在のシステムを拡充、成熟化させることで更なる患者様へのサービスの向上、業務の効率化を実現し、医療政策に沿う形でこれら電子カルテシステムに基づいた地域医療機関との連携を密にすることを今後の方針に掲げています。

### 今後の期待・要望

アストロステージがもつ顧客重視の姿勢を持ち続け、一層充実したシステム開発に向けて努力し続けることを期待します。アストロステージと当院が今後も良きパートナーとして共に発展していくことを願っています。

### システム構成図

